A dark, high-contrast photograph showing the silhouette of a person sitting in a wheelchair, positioned in front of a large window with vertical bars. The scene is dimly lit, with light coming from the window, creating a somber and contemplative atmosphere.

転倒ハイリスク者をAIで可視化 必要のない見守り業務をゼロへ

限りある介護の力を
必要なひとへ届けたい。

“認知症の人の能力は日々変化する”

転倒ハイリスク者を特定できず、見守り業務に振り回される



- 誰かが転倒するかもしれない
夜勤が不安...
- アラートに振り回されて
心身共に辛い...
- 転倒事故の原因を責められ
ないか不安...

労働力不足による
経営難

- 離職の増加
- 採用費の高騰
- 転倒事故後の対応コスト増加

Reha 3.0 (リハサン) 3つのポイント

睡眠時のデータ
活用

ポイント



独自AIで解析

ポイント



転倒ハイリスク者
可視化



導入効果

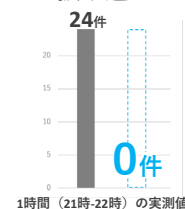


転倒ハイリスク者を可視化

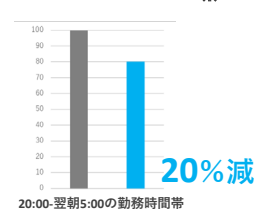
- センサーアラートを必要最小限にできる！
- 予測不能な転倒事故が発生した際、
客観的データに基づき状況を整理できる！
- 夜間人員を必要最低限にできる！



センサーアラートの
空振り通知ゼロ ※1



介護士の
歩行速度低下 ※2



こんなに静かな
夜勤は初めて！

不安、ストレスを
感じなかった！

※1,2 特別養護老人ホーム 浄風園で検証 ※2 ビーコンによる実測値

Rehabilitation3.0株式会社

〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎2-16-19
メッセージ 梅田ビル 1階 ONthe UMEDA内

<https://rehabilitation3.jp/>

